

新型コロナウイルス感染症の流行により、国際交流活動が中止になった等の理由で参加の実績がない者は、国際交流活動の計画等を示す文書（志願者本人及び出身学校長の記名・押印を含む）及びその計画を証明する資料のコピーの添付（注４に準ずる）を厳封したものを提出することにより、本参加調査書に代えることができます。

東京学芸大学教育学部 令和９年度学校推薦型選抜

国際交流活動参加調査書

(A類現代教育実践コース国際教育プログラム志願者のみ提出)

受験 番号	
----------	--

(受験番号欄には何も記入しないでください。)

フリガナ 氏名		生年月日	年 月 日	
出身学校	国立 公立 私立	高等学校 中等教育学校 学 校	☐ 卒業見込 ☐ () 年卒業	
〔参加記録〕				
	年月日・期間 (事前・事後研修等 等は含まない)	参加活動・参加事業の名称 (志願者が団体・班長・実行委員等の役割に就いて いた場合は、その名称等を括弧書きで付記すること。)	主催者又は主催団 体・機関の名称	主催者等が出身学校以外の 場合、主催者等の連絡先 (住所及び電話・FAX 番号等)
①	() から () まで (日間)			
②	() から () まで (日間)			

(注１) 太枠内は志願者本人が記入し、この内容が事実と相違ない旨を志願者本人及び出身学校長が確認し、記名及び押印すること。さらに、注４で示した資料を添付したうえで厳封すること。

なお、万一事実と相違していることが明らかとなった場合は合格の後でもこれを取り消すことがあります。

(注２) 参加記録には参加した活動を２件まで記入することができます。ただし、記入した内容以外の活動について面接の際に触れても構いません。また、１件のみの記入であっても選考の際に不利になることはありません。

(注３) 高等学校又は中等教育学校等での国際交流に関する部活動・団体の部員・委員等で長期かつ継続的に活動した場合には、部員・委員等であった時期の開始及び終了年月のみを記入し、日及び期間を記入する必要はありません。

(注４) 本参加調査書を表紙として、記入した活動についてその活動内容が具体的に分かる資料及び参加したことが証明できる資料のコピー（A４サイズに統一する。読みやすければ縮小コピーをしてもよい。大きい場合は折りたたむなど、見やすく作成すること。）をホッチキス等で綴じること（左綴じとする）。参加記録が２件の場合は中表紙等で分かりやすく区別してください。

《資料の例示》(活動内容が分かり、参加が証明できるものであればこれに限りません。)

- ① プログラムの概要（目的、参加資格又は参加者全体のプロフィール、場所・期間・具体的スケジュール等が分かる部分、事前又は事後研修が実施されていればこれらの概要を含む）のコピー
- ② 参加者名簿及び主催者等が発行した参加証等のコピー（いずれかでもよい）
- ③ 事後レポート等に掲載されている志願者自身の感想文等のコピー（発行されている場合）

上記の内容は事実と相違ないことを確認しました。

年 月 日 志願者氏名
学 校 名
学 校 長 名

公印